

学校だより



春里



平成30年度 10月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

「部活動の在り方」

校長 松井 秀史

今年は台風が多く発生し、現在、24号が日本列島を縦断するのではないかと心配されております。そんな中、運動部の新人体育大会が始まり、予定が大幅に変更されるのではないかと心配しております。新人戦に向けて暑い夏の間も練習に励み、準備を重ねてきた1、2年生が、力を発揮し思い出に残る大会となるように願っています。

新人戦に向けて

先日、朝礼で運動部の壮行会を行いました。文化部の生徒たちが分担して司会進行を行い、運動部の部長がステージ上で声をかけると、フロアにいる1、2年生の部員たちが部ごとに立ち上がり、大きな声で挨拶をして、代表して部長が力強く決意を述べてくれました。私は生徒たちに「練習中は勝つことを目指し、試合では全力を出し切ることを目指してほしい」そして「“強いチーム”にこだわらず“良いチーム”にこだわってほしい」という話をしました。“良いチーム”とはどんなチームなのかを各部活動、各選手が考え、春里中学校の代表として誇りをもって試合に臨んでくれることを期待します。

なお、集団での移動があり交通事故等心配です。自転車使用の場合は1列走行でヘルメットを装着するなど安全に十分注意するように学校でも指導していますが、ご家庭でも触れていただきますと効果的かと思えます。どうぞよろしく願います。

部活動の意義



昨今、中学校での部活動の在り方がいろいろなところで話題となり、社会的に注目されています。文部科学省の学習指導要領では「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学

校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」と示されています。また、3月にスポーツ庁が策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を受けて、さいたま市でも独自のガイドラインが作られています。さいたま市では運動部活動に限らず文化部も含めて部活動の在り方への指針としています。最近話題となっている部活動の休養日についても“さいたま市部活動の在り方に関する方針”によりますと「週当たり2日以上以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）」「部活動の特性や実態により年間を見通した長期的な視点で活動時間や休養日を設定する必要がある場合は年間の休養日数と同数以上になるように設定する。」と示されました。

本校の部活動



本校では、「生徒の自主的、自発的な参加」が実現できるように運動部・文化部合わせて20の部活動を作っていますが、必ずどこかに所属しなくてはならないわけではなく、外部のクラブチームや個人的な習い事や趣味に力を注ぐことも自主的、自発的な活動として考えています。自分に合った部活動等で「学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成」につながることを期待します。

ちょっと一言・・・

9月に行われた文化祭での文化部の活躍や今回の新人戦に向けての運動部の練習風景を見ているとこの時期に部活動等で学ぶことは一生の宝になる場合が多く、大切なものです。これからも「部活動の意義」を生徒・保護者・学校で考えていきたいと感じます。

